

第44回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

東日本大震災により被害を受けられたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げます。
被災地域のみなさまのご健康と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
今回このような状況下で、DI調査アンケートにお答えいただきましたみなさまに
深く感謝申し上げます。

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

代表取締役 藤田 宏

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、2000年6月より四半期ごとに実施している調査。

■ 今回の調査について

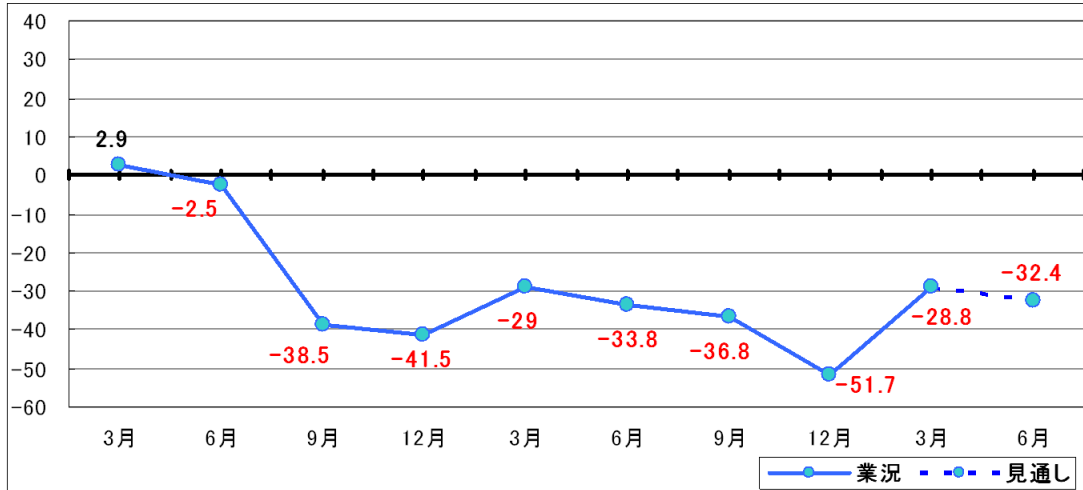
1. 調査対象： 日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会、Acclub会員（エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員）他、全国の有力パチンコ店経営企業の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2011年4月18日～5月13日
※今回の震災の影響で、本来3月実施の調査が4月に変更
3. 調査方法： FAXにて送付・回答
4. 回答状況： 有効回答数 117企業・139地域（企業により重複地域有）

2011年5月

調査結果ダイジェスト

■『全般的業況』 改善みられるが、依然 マイナス28.8

全般的業況 【全体】



2010年3月の「全般的業況」は前回（2010年3月）と比較して改善がみられたもののマイナス28.8と、依然厳しい状況である。（詳細 P.4・P.21）

事業者規模別の回答結果で、「全般的業況」はすべての規模事業者で改善する結果となった。小規模事業者は前回（2010年12月）と比較して、31.5ポイント大幅に改善している。「見通し（今後3ヶ月）」においては、中規模事業者のみ改善傾向が見られたが、依然すべての規模事業者で20ポイント以上のマイナス傾向である。（詳細 P.5・P.21）

地域別回答結果では「全般的業況」は全ての地域で改善する結果となった。「近畿」は前回（2010年12月）と比較して、33.1ポイント数値を改善させている。「関東」「中部・北陸」はマイナス30ポイントを超える数値となっており、他の地域と比較して厳しい状況がうかがえる。（詳細 P.5・P.6・P.21）

<DI値算出の方法>

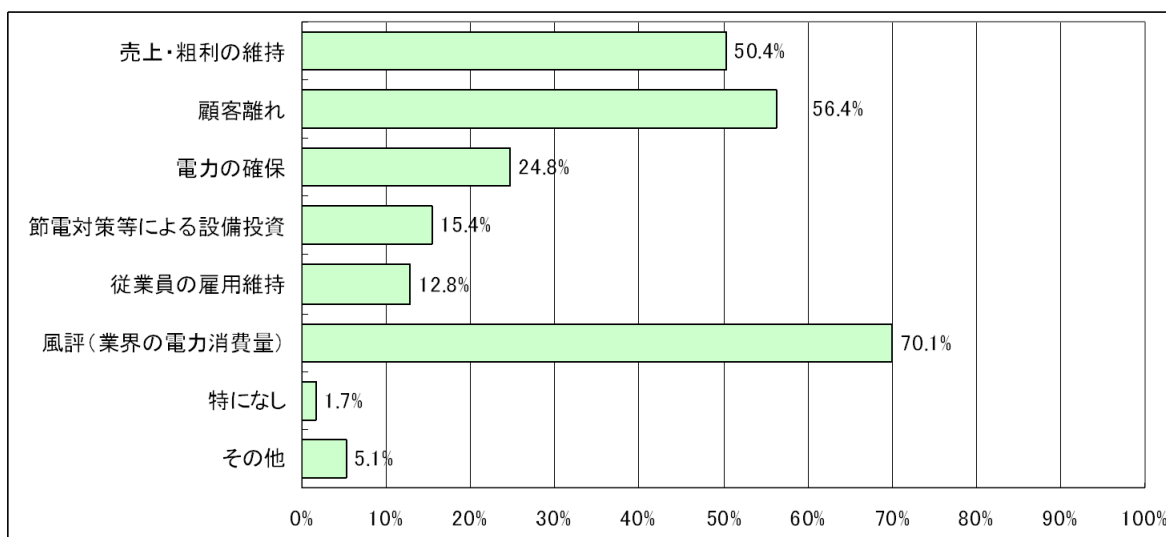
業況判断指数（DI）は、業況判断の変化を「良い」「さほど良くない」「悪い」の三択方式で実施。「良い」「さほど良くない」「悪い」の企業数の割合を百分比で表し、「良い」（%ポイント）から「悪い」（%ポイント）を差し引きしてDI値を算出。

調査結果ダイジェスト

■ 『東日本大震災の影響』

震災の影響で不安に感じていること 「風評」が際だつ

全体



複数回答に拠る集計 N=117

東日本大震災の影響で不安に感じていることは「風評」が70.1%でいちばん多く、他の項目との差が15%以上であった。

事業者別で見ると「中規模事業者」が78.9%と、小規模事業者(69.8%)・大規模事業者(57.7%)の数値よりも高いものであった。(詳細P.14)

また、「客数」「売上・粗利」に関しては震災後1ヶ月間、震災前と比較すると、大幅に減少・減少との回答が50%を超える結果となった。(詳細P.11・P.12)

一方、震災前との比較で、今後力を入れていくこととして「コスト削減」「お客様の安全対策」「スタッフの防災啓蒙」がそれぞれ50%以上と、他の項目よりも突出して高くなっている。(詳細P.16~P.18)

自由記述回答では「業界が団結して意思の統一をすること」「業界のイメージアップを考えなければならない」といった業界に対する意見が多く見られた。(詳細P.19・P.20)

1. パチンコ業界全体 主要指標一覧

■ 唯一のプラスが、パチスロのみ

今回の調査結果で、唯一プラスとなったのがパチスロであった。パチンコは、前回調査時（2010年12月）よりも数値は改善したものの、依然マイナス28.5ポイントとマイナス傾向が続いている。見通し（3ヶ月後）もマイナス28.5ポイントと、変わらず厳しい状況が続いている。資本投資機運の変化（遊技機）ではマイナス38.5ポイントと、前回調査時（2010年3月）よりも大幅に数値を下げる結果となった。

主要指標【パチンコ業界全体】

項目	D. I. 値			業界天気		コメント
	前回の現状	今回の現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-51.7	-28.8	-32.4			雷雨から雨に改善 見通しは雷雨に悪化
2. 稼働状況 (パチンコ)	-59.7	-28.5	-28.5			雷雨から雨に改善 見通しは変わらず雨
3. 稼働状況 (パチスロ)	14.1	14.6	7.3			引き続き薄曇り 見通しは曇りに悪化
4. 資本投資機運の 変化（遊技機）	-10.9	-38.5	-30.2			雨から雷雨に悪化 見通しも変わらず雷雨
5. 資本投資機運の 変化（設備）	-1.7	-9.5	-13.8			引き続き曇り 見通しは雨に悪化
6. 営業用設備の 不足感	-5.6	-7.2	-18.7			引き続き曇り 見通しは雨に悪化
7. 雇用人員の 不足感	-2.1	-9.4	-5.0			引き続き曇り 見通しも変わらず曇り

注：前回の現状は2010年12月調査時の結果

凡例：天気記号基準

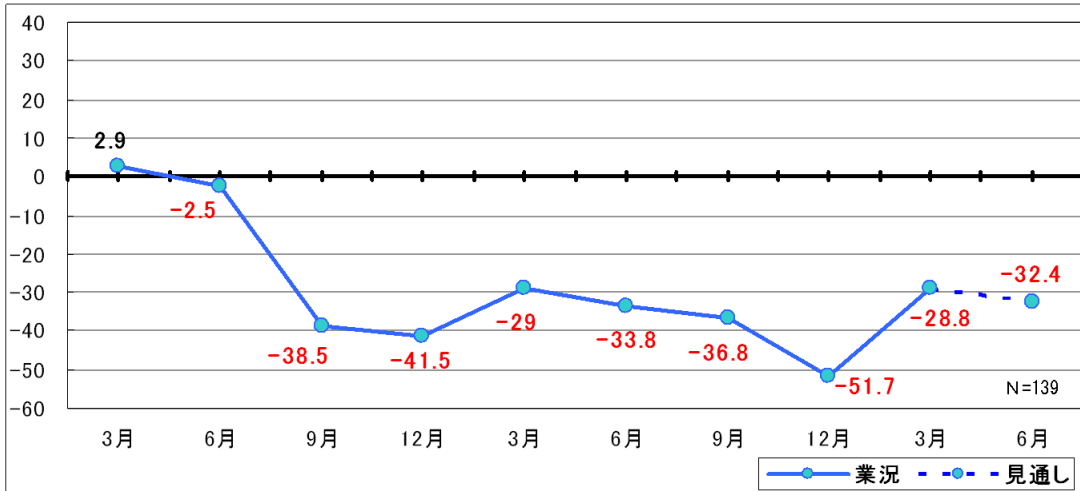
記号	数値	記号	数値	記号	数値
	30.0~		-9.9 ~ 9.9		-29.9 ~ -10.0
	10.0 ~ 29.9				-30.0~

2. 全般的業況

①全体業況・全体業況判断理由

■『全体』 改善みられるものの、現状の厳しさは変わらず

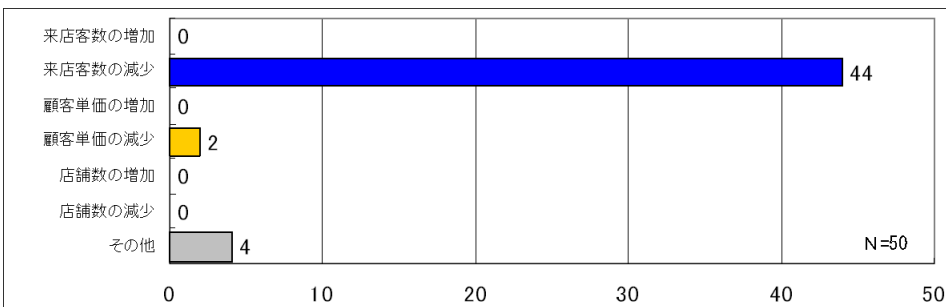
全般的業況 【全体】



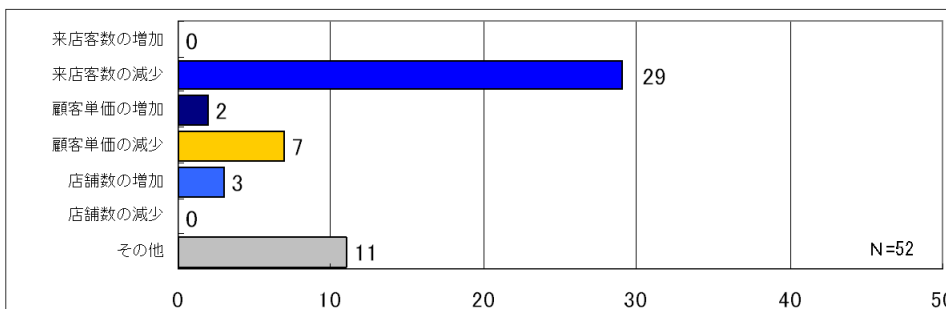
現状の数値はマイナス28.8ポイントと数値は改善したものの、現状の厳しさに変化が見られない結果となった。見通し（3ヶ月後）もマイナス32.4ポイントであり、プラスにプラス数値とはかけ離れた状況が続いている。

■『全般的業況：「悪い」と判断した理由』 来店客数の減少が大きく影響

全般的業況 【現況：「悪い」と回答した判断理由】



全般的業況 【見通し（3ヶ月後）：「悪い」と回答した判断理由】

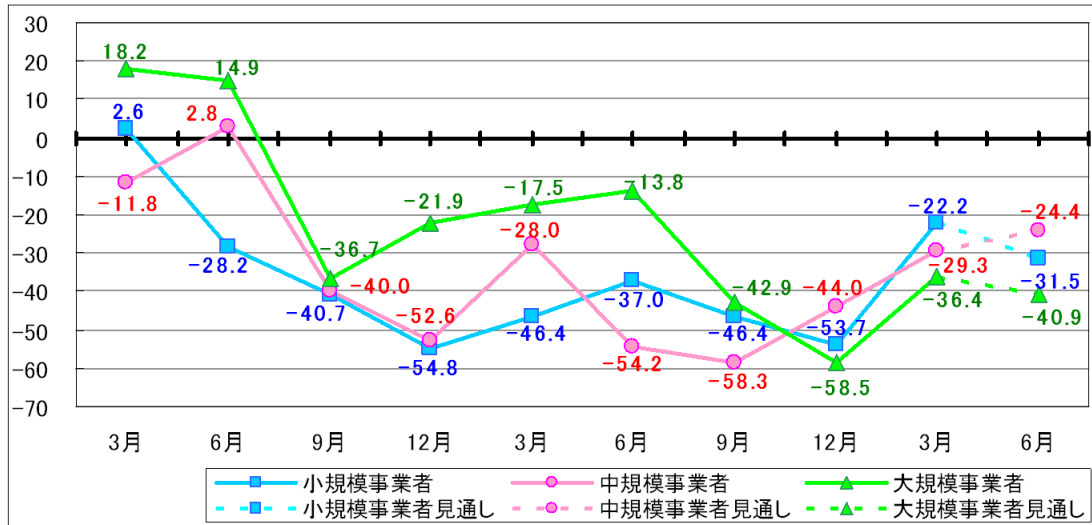


※「良い」と回答した企業が現況では11、見通しも10のため「悪い」のみ表記

2. 全般的業況 ②規模別・地域別

■『規模別』 若干の改善みられるが、厳しい状況は変わらず

全般的業況 【規模別】



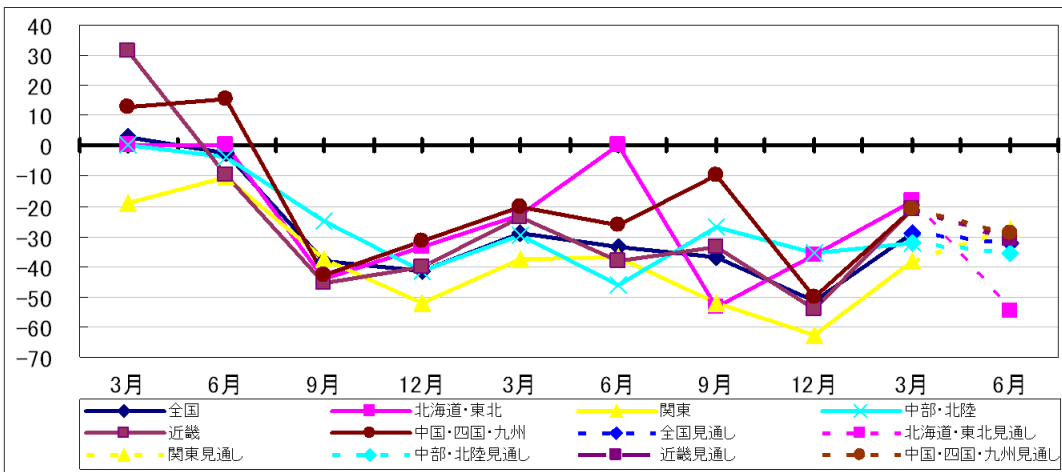
小規模事業者：N=53 中規模事業者：N=38 大規模事業者：N=26

注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上

すべての規模事業者で、前回調査時（2010年12月）より10ポイント以上のプラス傾向となったものの、マイナス20ポイントを割る数値であり、厳しい状況が続いている。見通し（3ヶ月後）も、全規模事業者で明るい兆しが見えない数値となっている。

■『地域別』 「中部・北陸」のみ改善の兆しがほとんど見られず

全般的業況 【地域別】

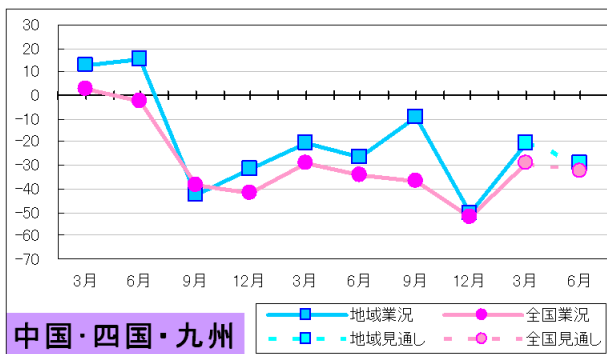
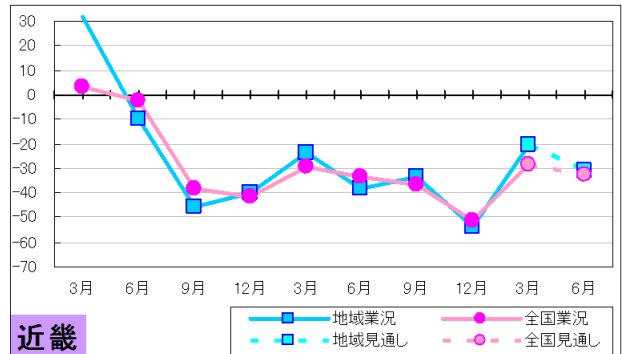
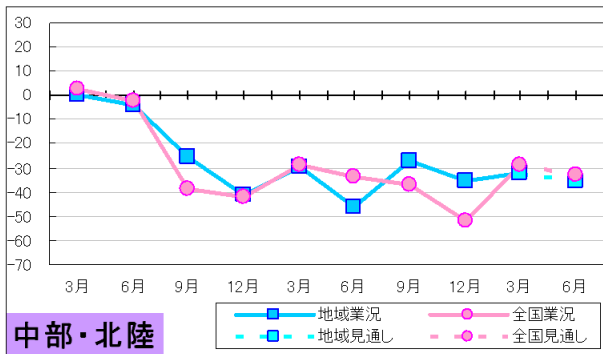
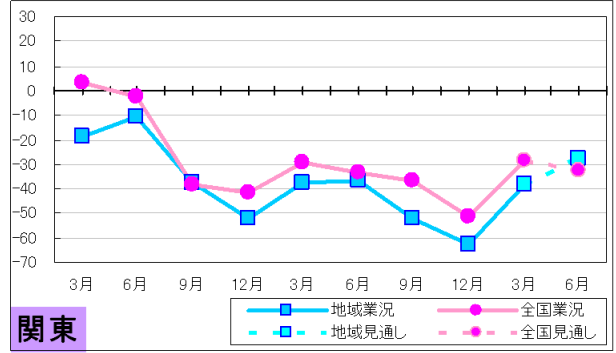
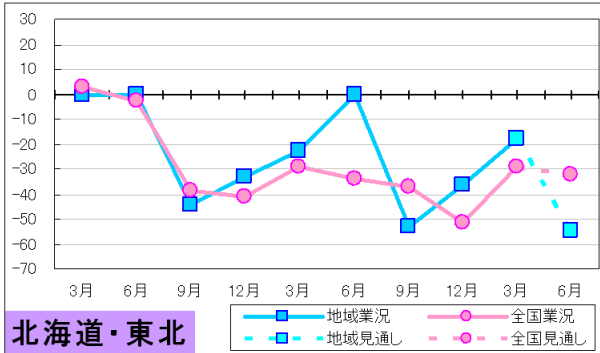


「北海道・東北」「関東」「近畿」「中国・四国・九州」は前回比で、15ポイント以上の数値を改善する結果となった。しかし、「中部・北陸」はほとんど改善の兆しが見られなかった。（数値詳細 P. 21）

2. 全般的業況 ③地域別詳細

■『地域別』 前回同様「関東」が一番のマイナス数値

全般的業況 【地域別】



北海道・東北:N=11 関東:N=47 中部・北陸:N=28 近畿:N=29 中国・四国・九州:N=24

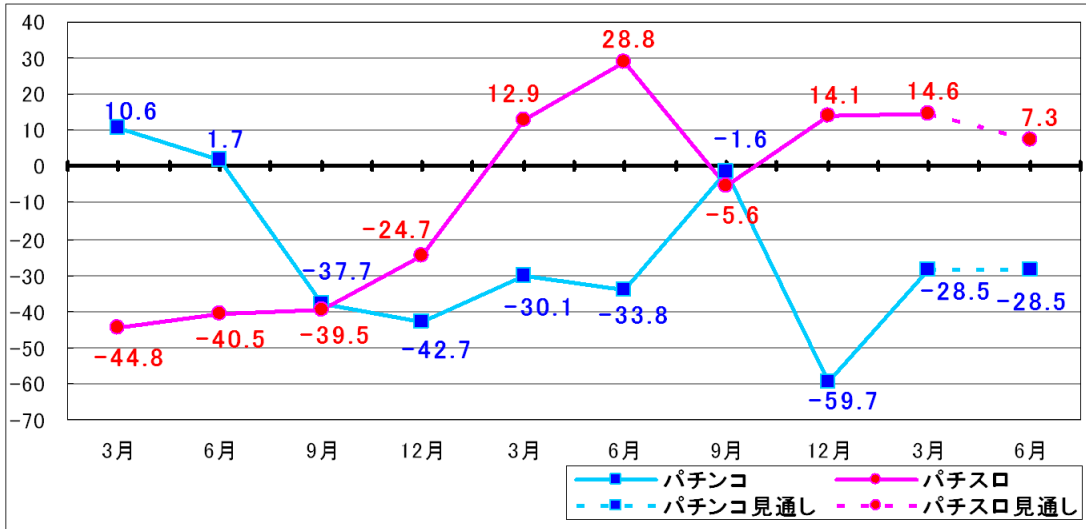
前回の調査結果（2010年3月）同様、「関東」がマイナス38.3ポイントと、全地域で一番のマイナス数値となった。一番数値が良かった地域である「北海道・東北」でもマイナス18.2ポイントと、引き続き厳しい状況が続いている。（数値詳細P.21）

見通し（3ヶ月後）では、全地域でマイナス20ポイント以上の数値となっている。特に「北海道・東北」はマイナス54.5ポイントと、大幅に数値を下げる結果となった。（数値詳細P.21）

3. 稼働状況 ①パチンコ・パチスロ

■パチンコの低迷状態変わらず パチスロはプラスを維持

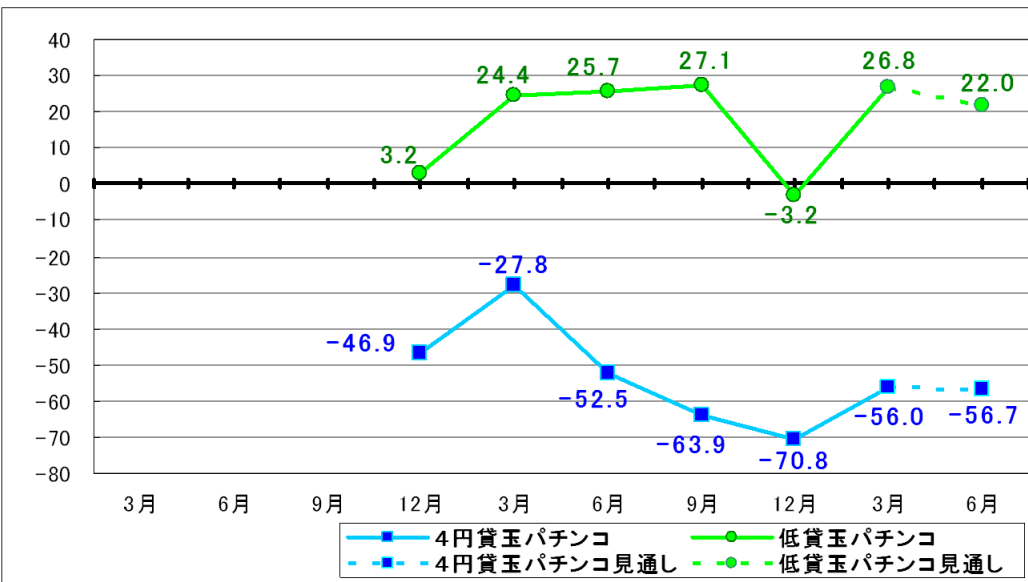
稼働状況 【パチンコ・パチスロ別】



パチンコは前回調査時（2010年12月）よりも数値を31.2ポイント改善したものの、依然マイナス28.5ポイントと低迷状態が続いている。
一方、パチスロはプラスを維持し、パチンコは低迷状況となっている。
見通し（3ヶ月後）では、パチンコが現状と変わらず、パチスロは悪化であった。

■4円パチンコ 変わらず低迷 低貸玉パチンコ、再度プラス圏へ

稼働状況 【4円貸玉・低貸玉別】

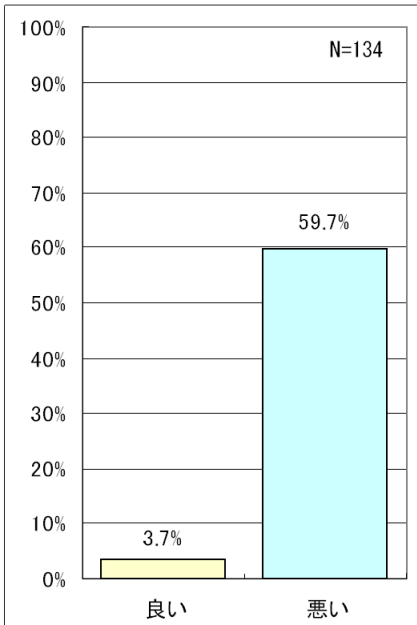


4円パチンコはマイナス56.0ポイントと未だ先行きが見えない状態が続いている。
低貸玉パチンコは前回比で30ポイント数値を改善し、再度プラス圏へ浮上している。

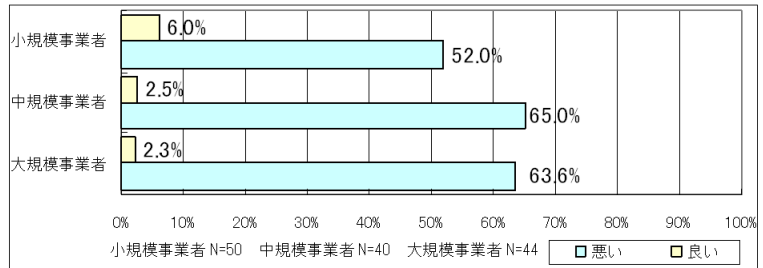
3. 稼働状況 ②パチンコ 円貸玉・低貸玉

■『4円貸玉』 「地域別」 近畿のみ「良い」が10%を超える

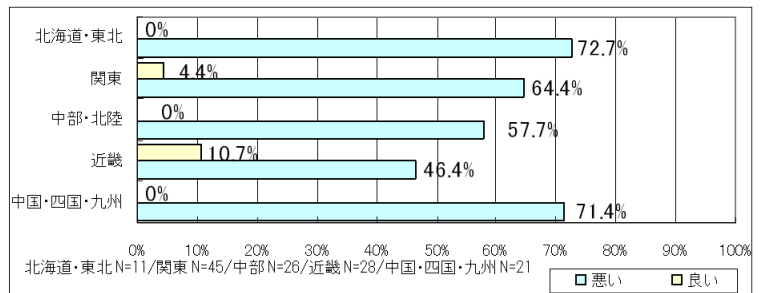
【全体】



【規模別】



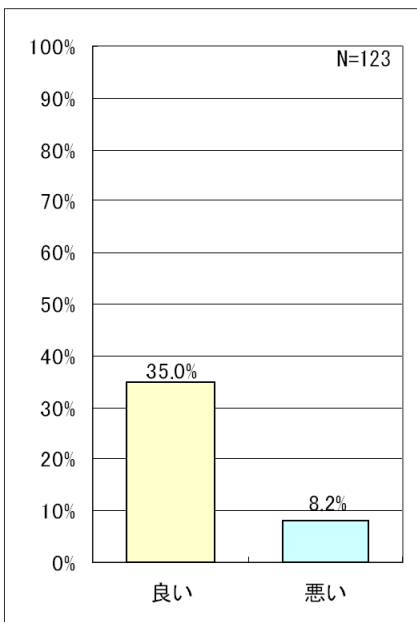
【地域別】



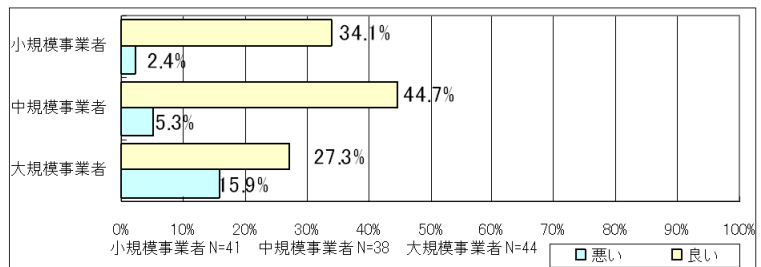
地域別で、「近畿」のみ他の地域と比較して、良いが10.7%と高く、悪いも46.4%と他の地域と比較して低い数値となっている。

■『低貸玉』 「規模別」 前回同様、大規模事業者の苦戦が浮き彫りに

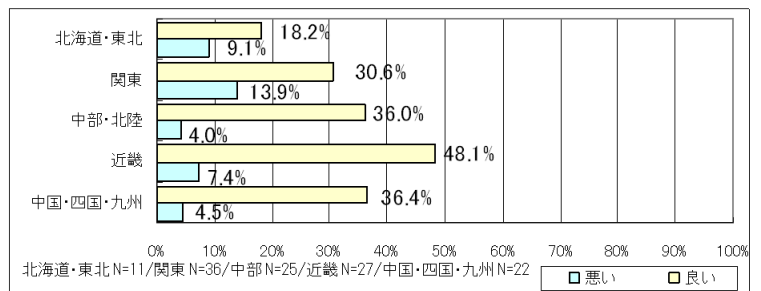
【全体】



【規模別】



【地域別】

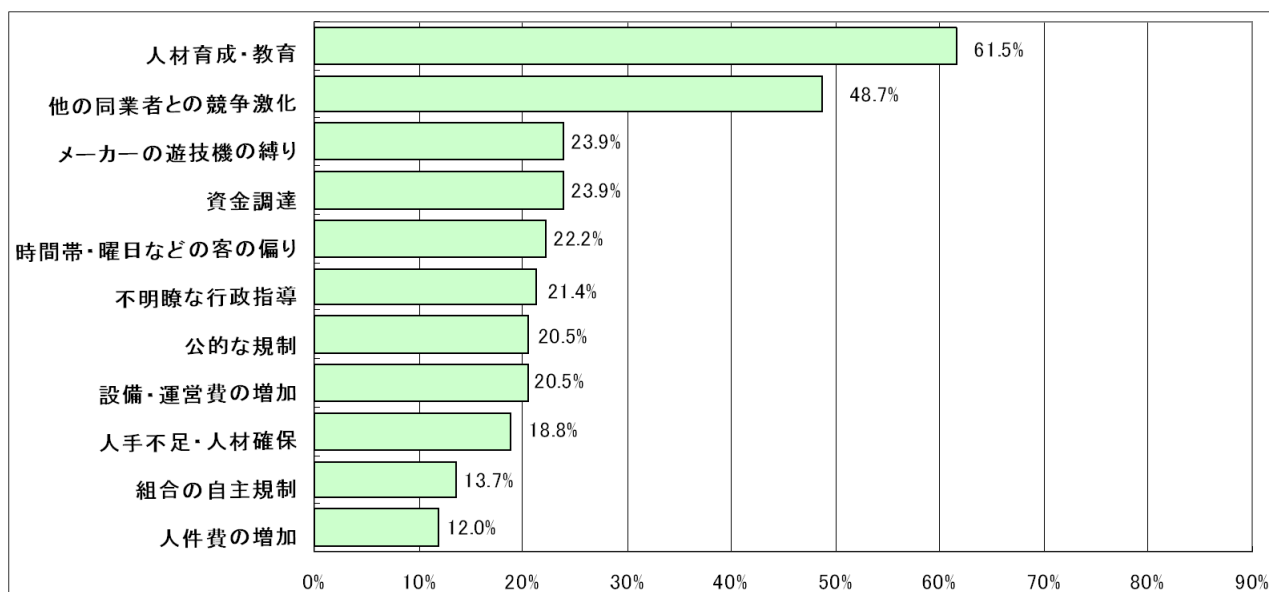


注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

4. 経営上の課題 ①全体

■『全体』 「資金調達」 2年3ヶ月ぶりに3位に上昇

経営上の課題 【全体】



複数回答による集計 N=117

今回、「資金調達」が3番目に多い結果となったが、これは2008年12月の第35回調査以来2年3ヶ月ぶりである。経営上の課題で「資金調達」に課題を感じる企業の比率が、再び水準を上げている様子が見て取れる。

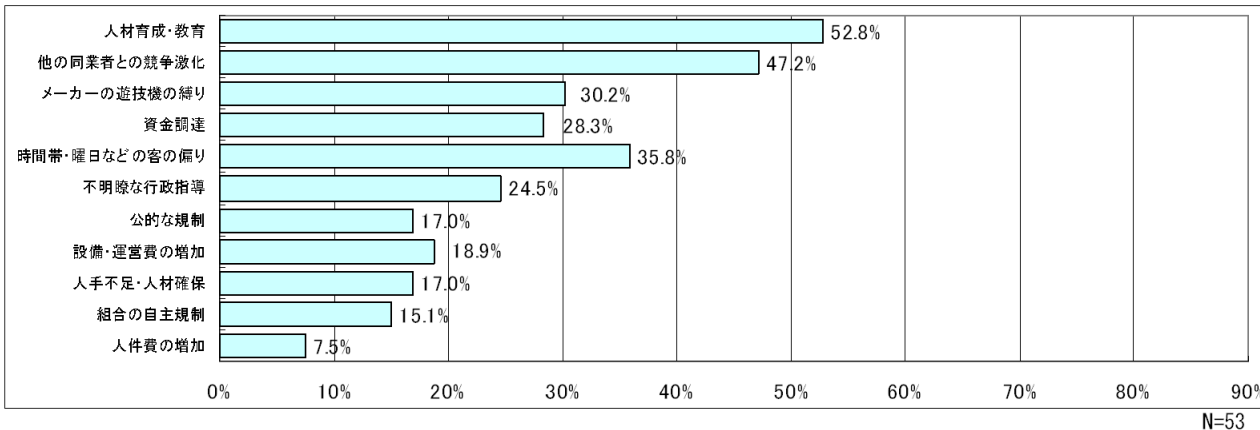
また、「人材育成・教育」「他の同業者との競争激化」の2項目が、他の項目を大きく離す結果となった。特に「人材育成・教育」は、60%以上の高い数値となっており、引き続き多くの企業が課題として捉えていることがうかがえる。

4. 経営上の課題 ②規模別

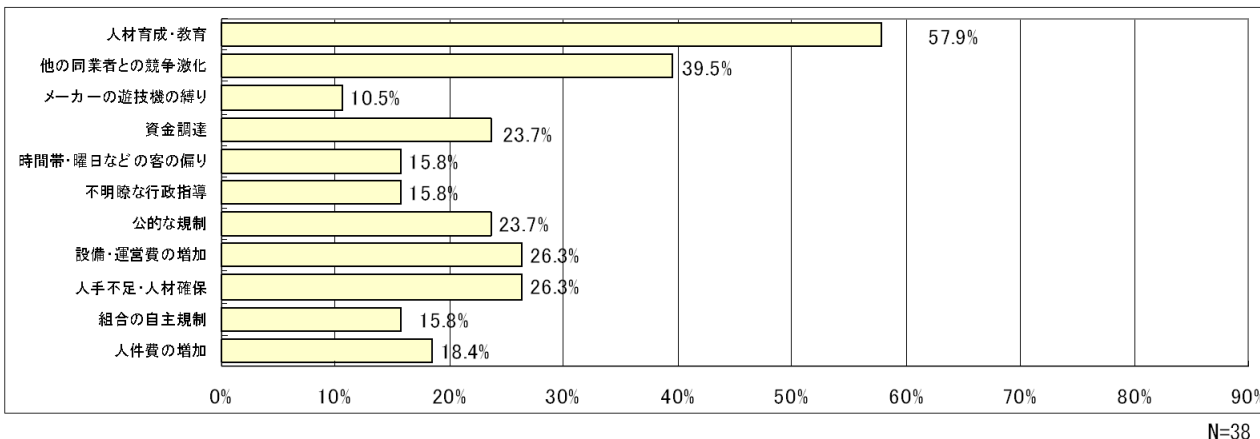
■ 『規模別』

「時間帯・曜日などの客の偏り」 大規模事業者はほとんど影響なし

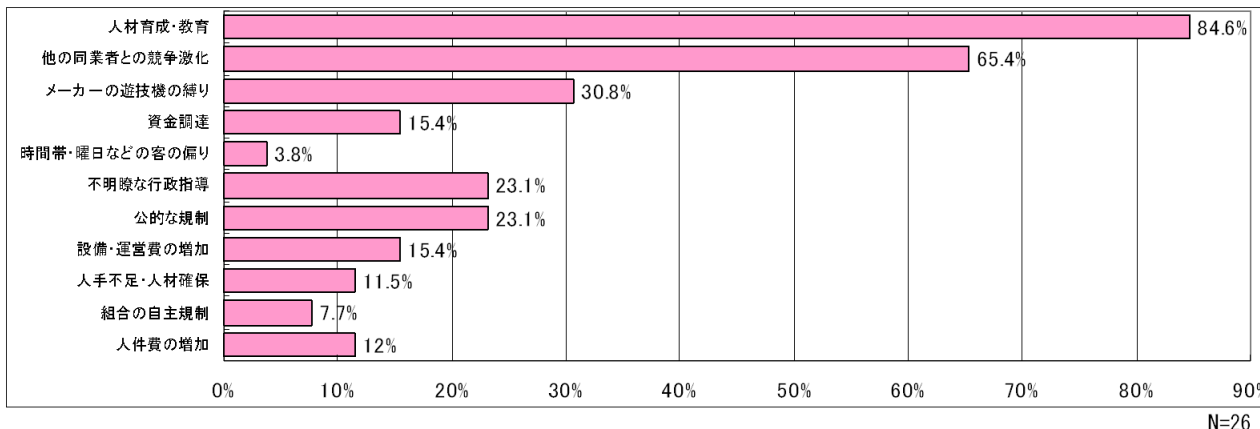
小規模事業者



中規模事業者



大規模事業者



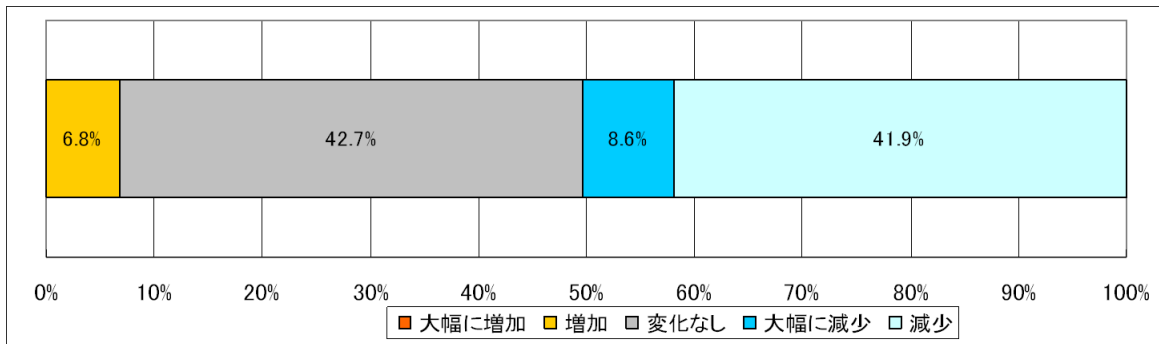
注：小規模事業者=1～3店舗 中規模事業者=4～10店舗 大規模事業者=11店舗以上 複数回答による集計

5. 東日本大震災の影響

①震災後1ヶ月間、震災前と比較して

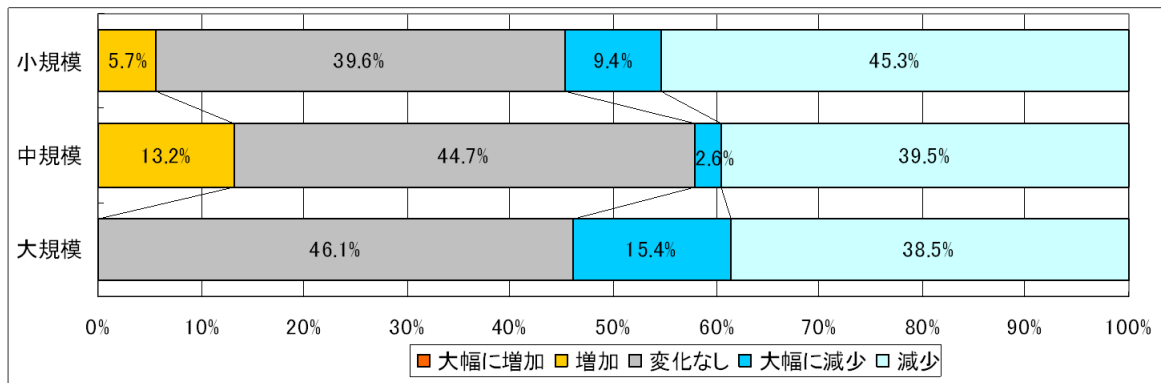
■『客数』 「地域」 関東、6割以上が大きな減少・減少と回答

【全体】



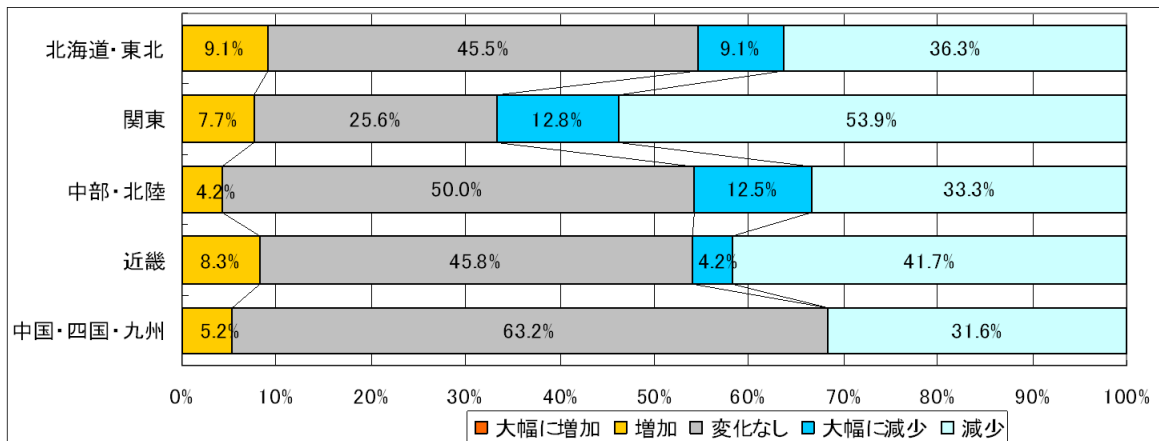
N=117

【規模別】



小規模事業者：N=53 中規模事業者：N=38 大規模事業者：N=26

【地域別】



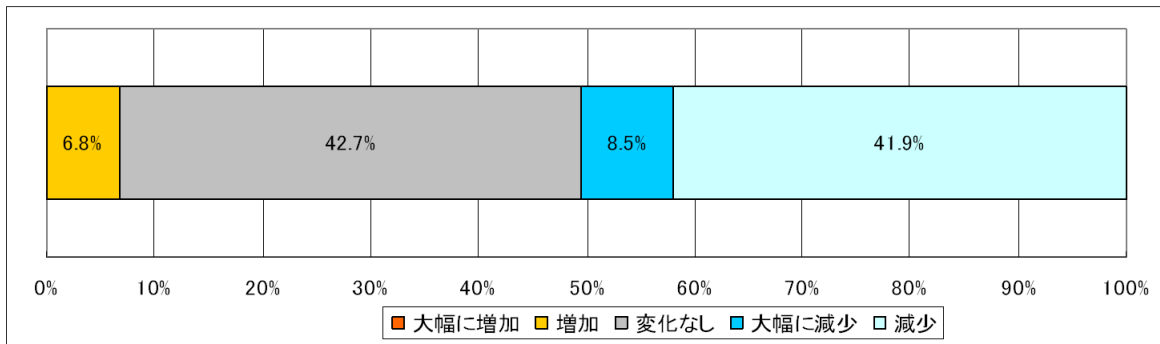
北海道・東北 N=11/関東 N=39/中部 N=24/近畿 N=24/中国・四国・九州 N=19

5. 東日本大震災

①震災後1ヶ月間、震災前と比較して

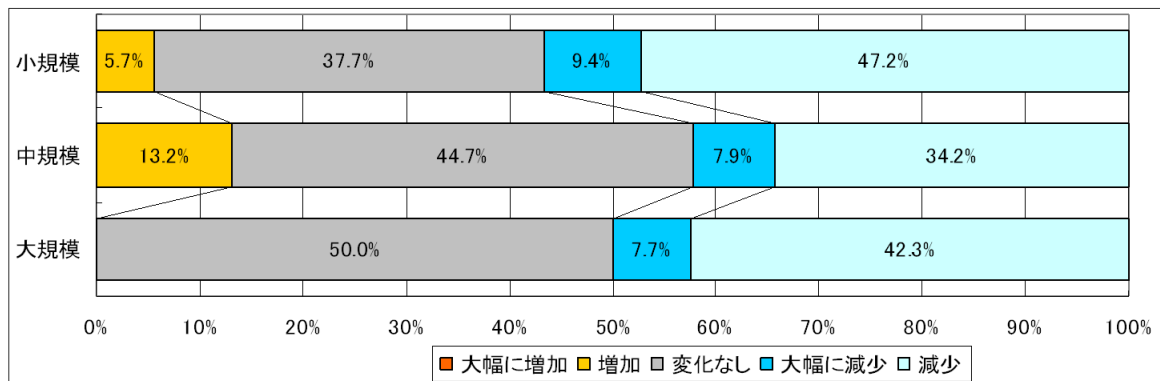
■『売上・粗利』 「北海道・東北」「関東」 6割以上が減少と回答

【全体】



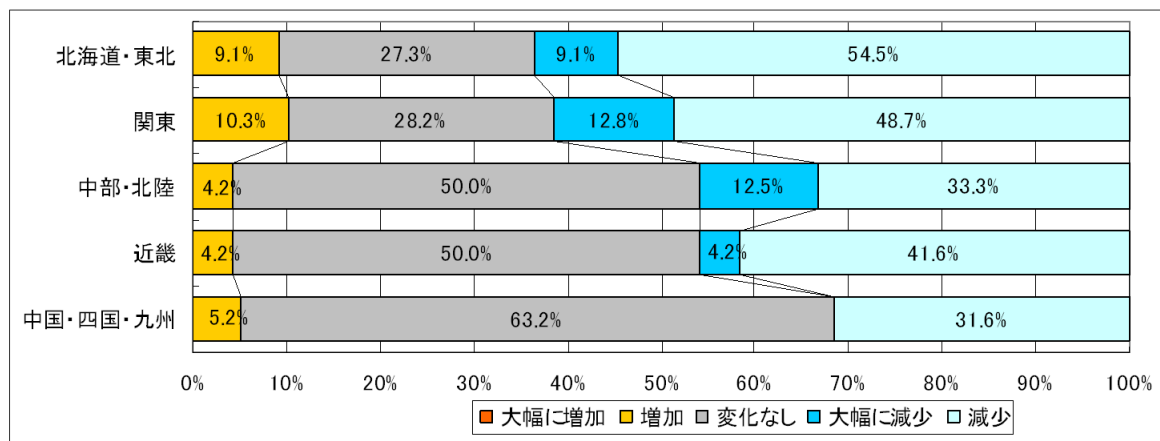
N=117

【規模別】



小規模事業者：N=53 中規模事業者：N=38 大規模事業者：N=26

【地域別】



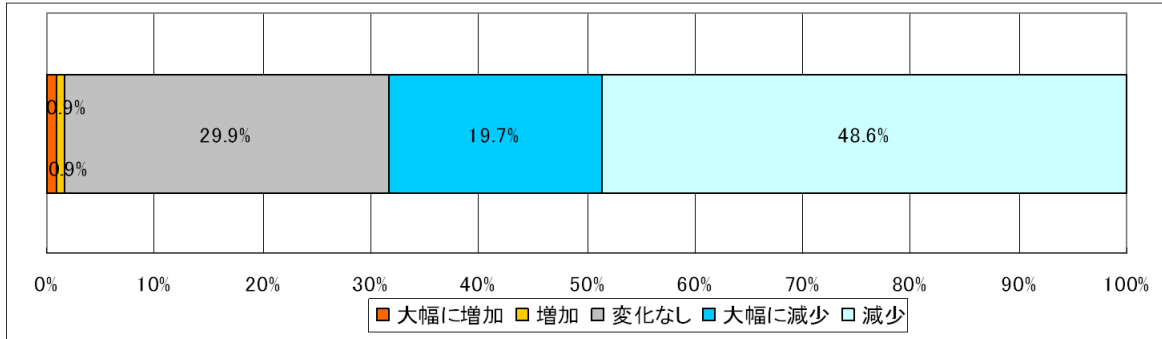
北海道・東北 N=11/関東 N=39/中部 N=24/近畿 N=24/中国・四国・九州 N=19

5. 東日本大震災

①震災後1ヶ月間、震災前と比較して

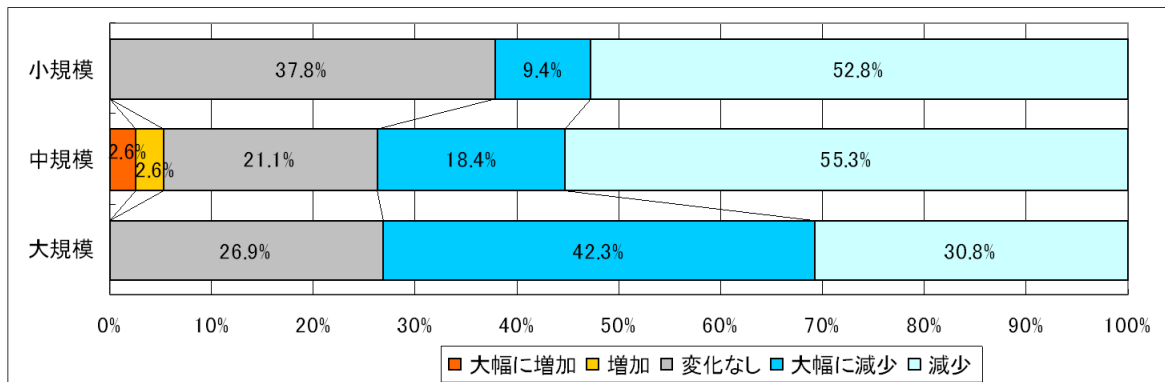
■『販促費用』 「地域」 北海道・東北、9割以上が減少と回答

【全体】



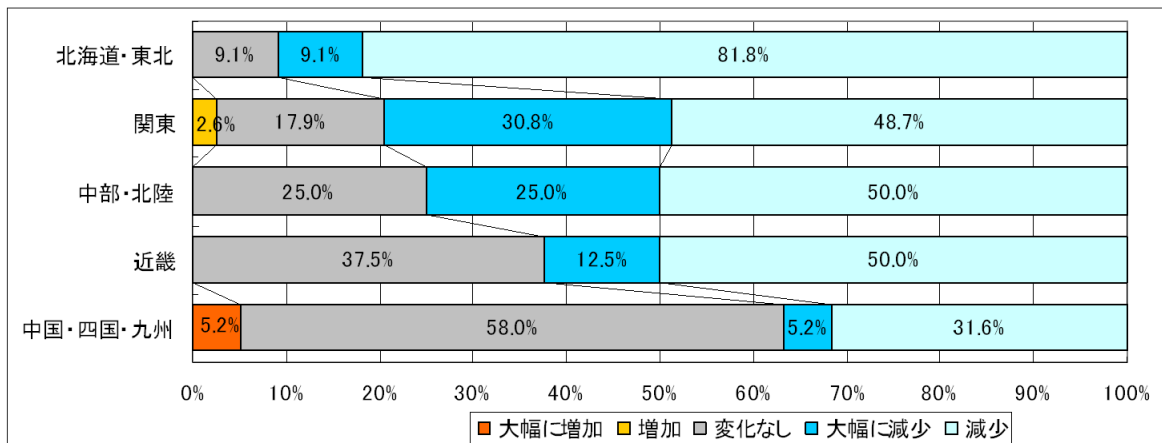
N=117

【規模】



小規模事業者：N=53 中規模事業者：N=38 大規模事業者：N=26

【地域】



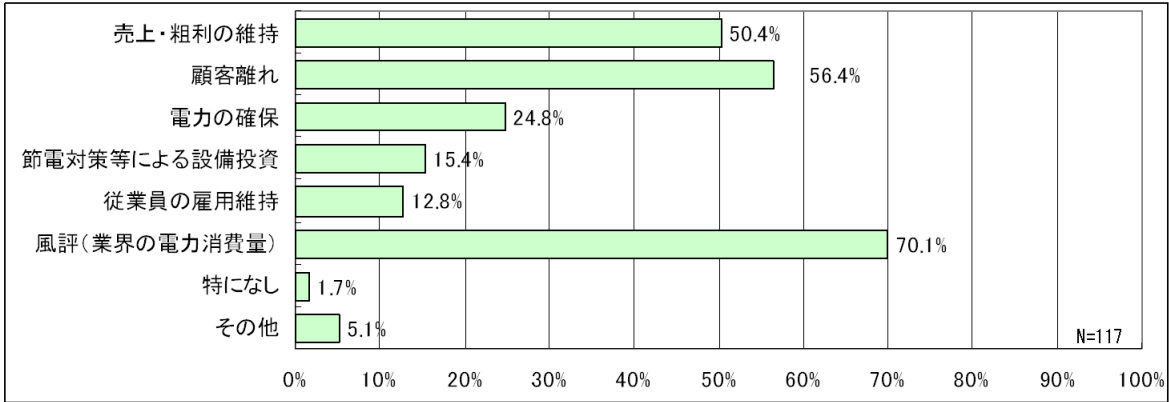
北海道・東北 N=11/関東 N=39/中部 N=24/近畿 N=24/中国・四国・九州 N=19

5. 東日本大震災

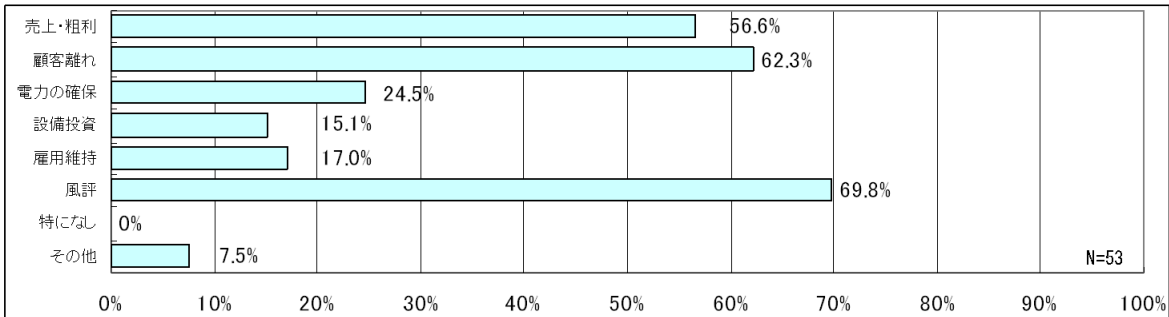
②震災の影響で不安に感じていること

■『全体』『規模別』 不安視多かった「風評」

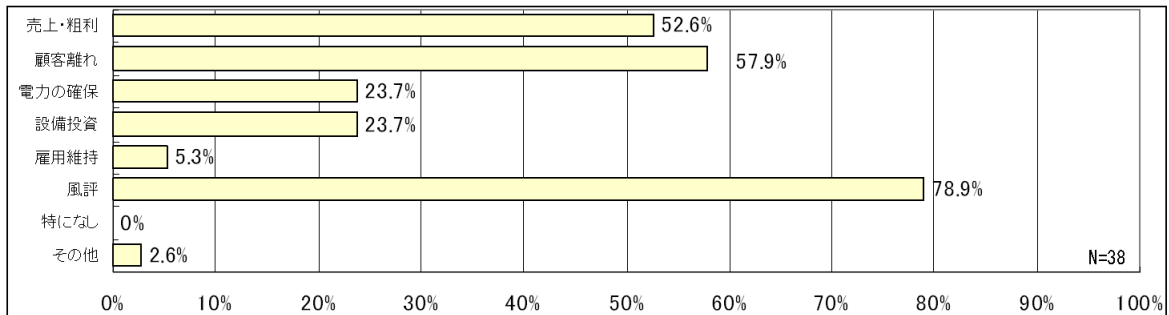
【全体】



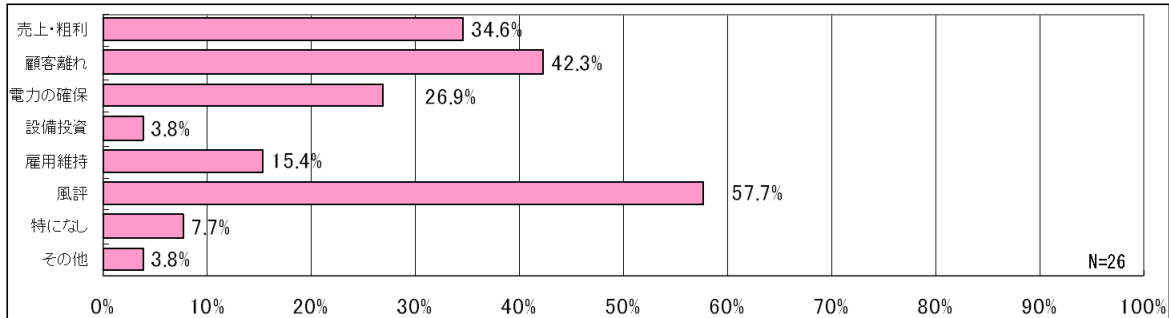
【小規模】



【中規模】



【大規模】



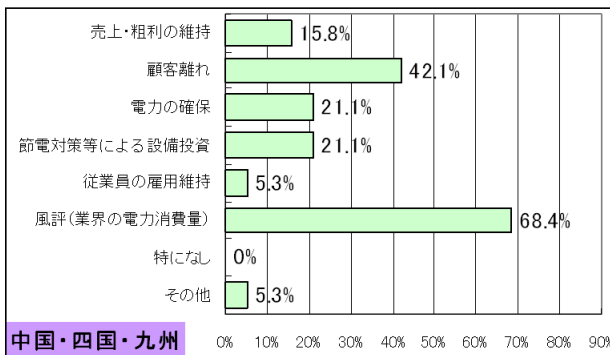
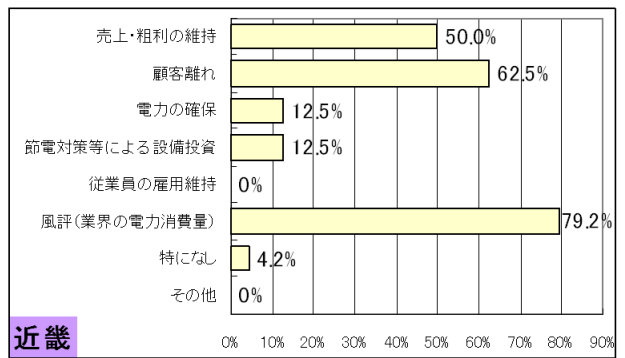
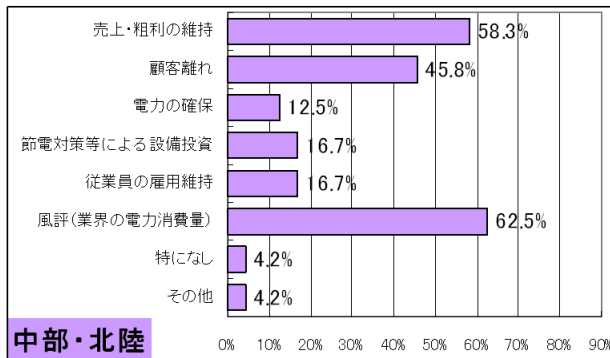
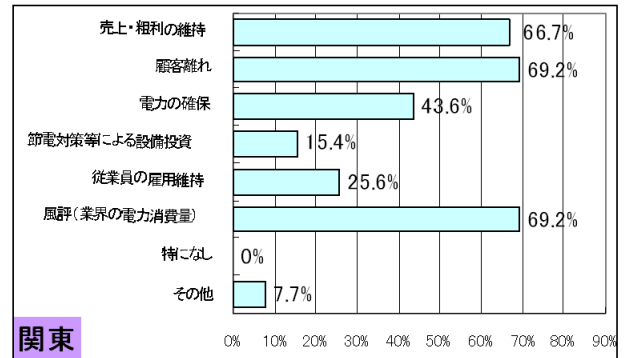
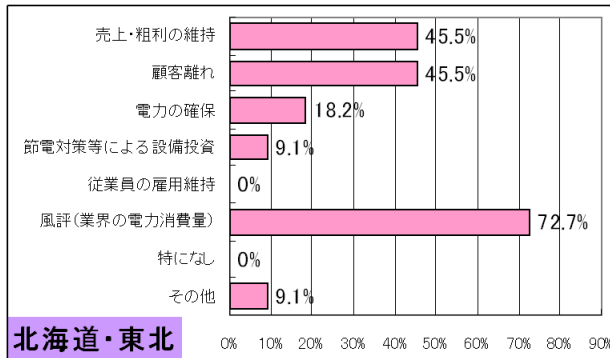
注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上 複数回答による集計

5. 東日本大震災

②震災の影響で不安に感じていること

■『地域別』 「関東」 電力の確保、他の地域よりも突出した数値に

震災の影響で不安に感じていること 【地域別】



注:北海道・東北:N=11 関東:N=39 中部・北陸:N=24 近畿:N=24 中国・四国・九州:N=19 複数回答による集計

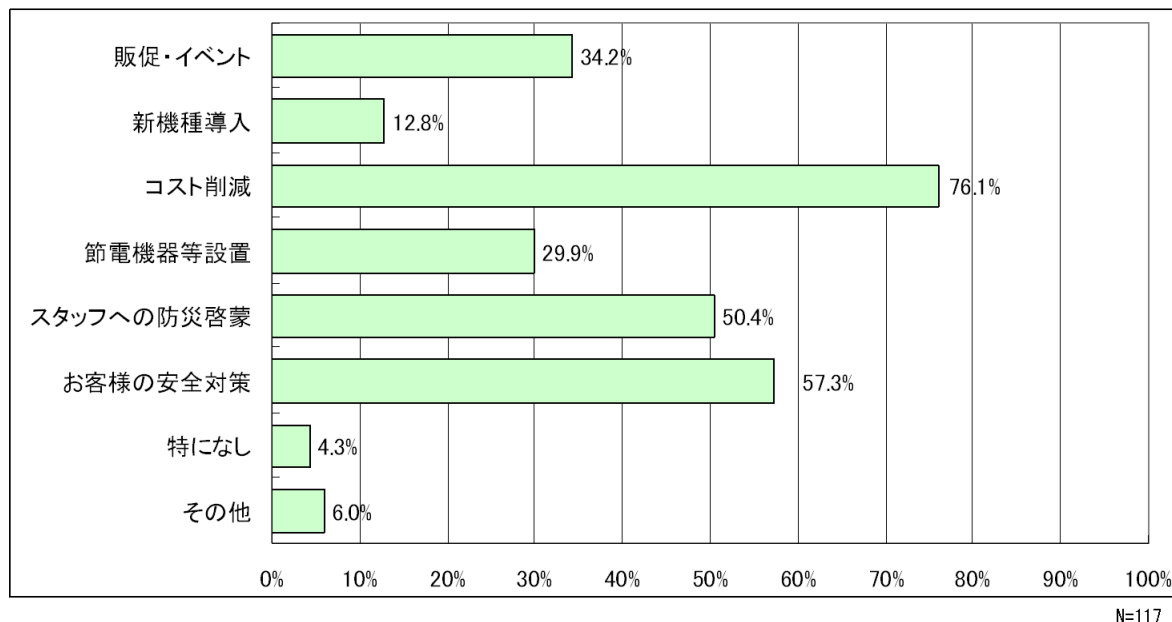
すべての地域で「風評」が多く指摘される結果となり、消費電力量の風評に不安を抱える様子がうかがえる。風評に続く高い数値であったのは「売上・粗利の維持」「顧客離れ」であり、すべての地域で40%以上の数値となった。

東日本大震災の影響から、関東のみ「電力の確保」が43.6%と、他の地域よりも突出して数値が高くなっている。

5. 東日本大震災

③震災前と比較、今後力を入れること

■『全体』 1位「コスト削減」 2位「お客様の安全対策」



「コスト削減」が76.1%と、他の項目よりも突出した数値となっている。震災前と比較して、販促費・機種購入費等のコスト削減に力を入れる企業が多いことがうかがえる。

一方、2位が「お客様の安全対策」57.3%、3位が「スタッフへの防災啓蒙」50.4%と、防災に対する取り組みにも力を入れていく企業が多い結果となり、東日本大震災の影響が色濃く出る結果となった。

防災に対する取り組みに力を入れていくという傾向は、規模事業者別に見ても同様の結果であった。
(詳細P. 17)

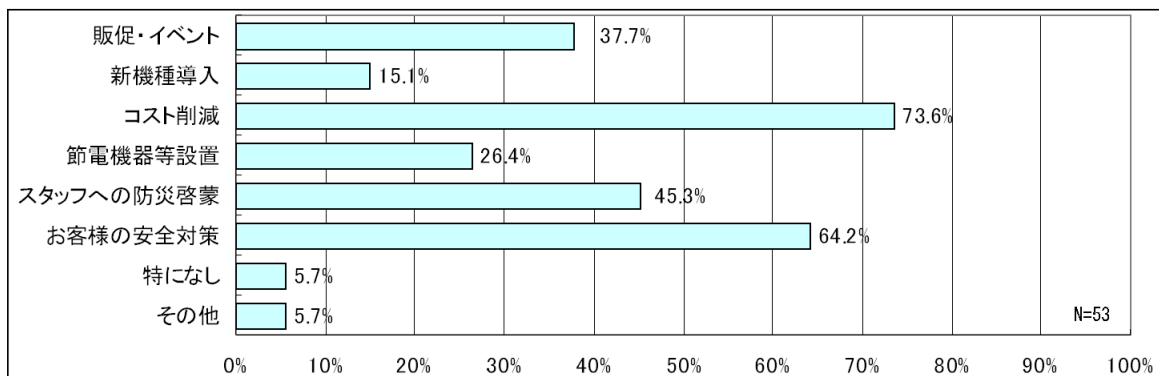
地域別で見ると、「北海道・東北」「関東」で、コスト削減の項目が80%以上となっており、他の地域よりも10%以上高い値となっている。(詳細P. 18)

5. 東日本大震災

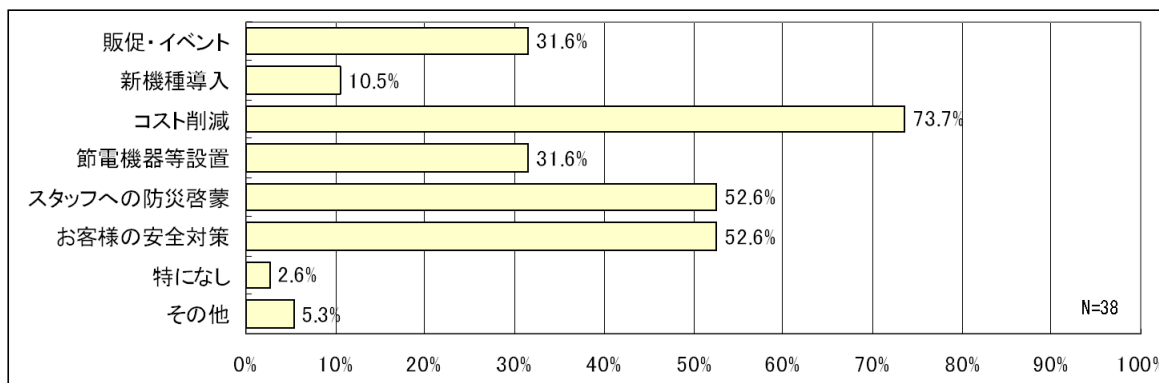
③震災前と比較、今後力を入れること

■『規模別』 すべての規模事業者で「コスト削減」がトップ

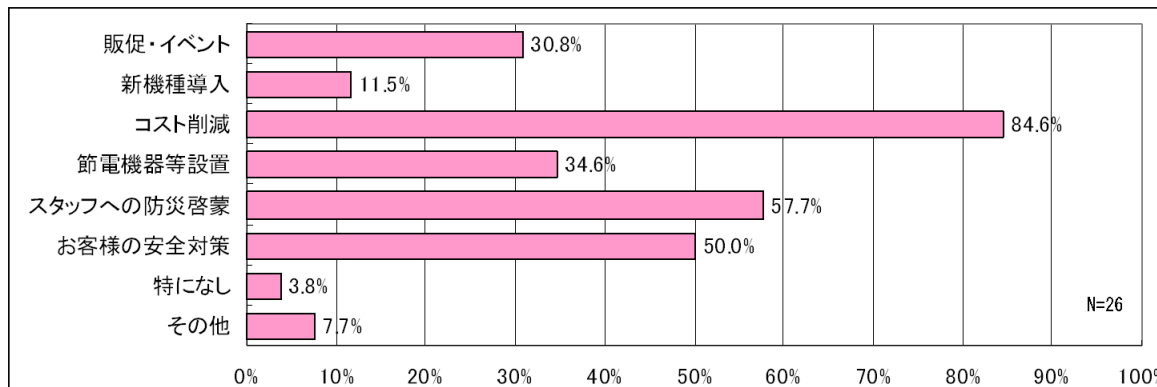
【小規模】



【中規模】



【大規模】



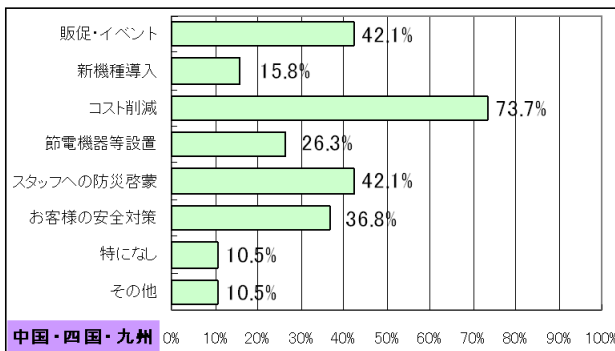
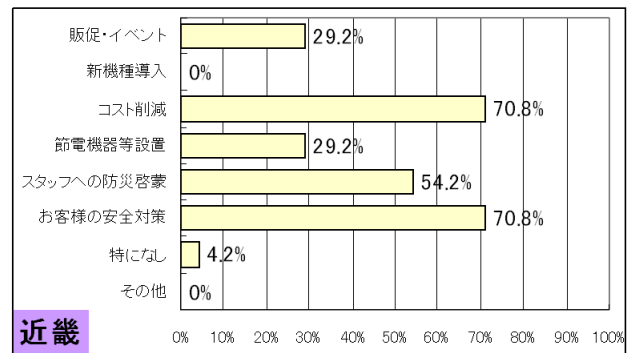
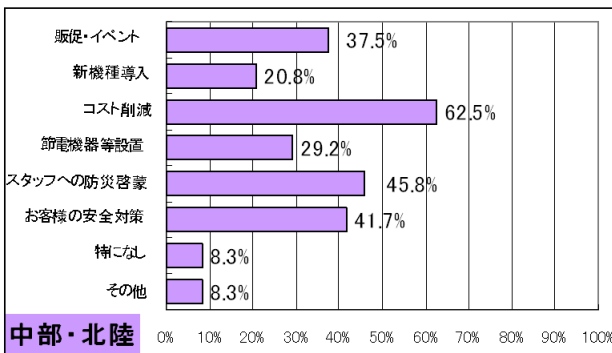
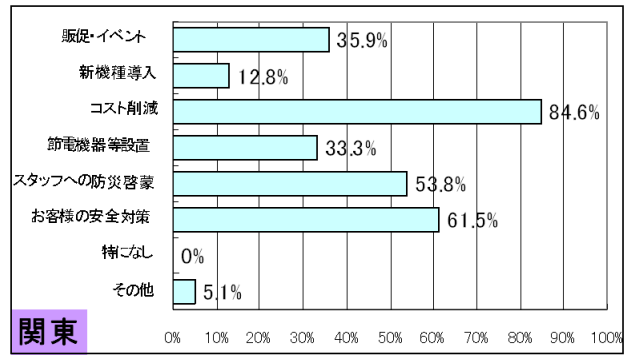
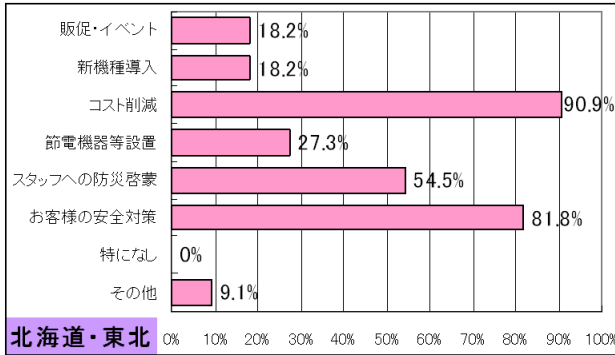
注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上 複数回答による集計

5. 東日本大震災

③震災前と比較、今後力を入れること

■『地域別』 「北海道・東北」 9割以上がコスト削減の回答

震災前との比較で、今後力を入れること 【地域別】



注:北海道・東北:N=11 関東:N=39 中部・北陸:N=24 近畿:N=24 中国・四国・九州:N=19 複数回答による集計

「北海道・東北」地域で、コスト削減が90.9%と、他の地域よりも突出して高い数値となっている。すべての地域において「お客様の安全対策」「スタッフの防災啓蒙」の項目が高い数値となっており、東日本大震災の影響が顕著に表れる結果となった。

5. 東日本大震災 ④自由記述

(一部抜粋)

- ◇『今回の震災で、業界に対するバッシングを受けて、もっと業界のイメージアップを考えなければならぬと感じた。いろいろな努力をして社会に貢献していることを世間に知っていただけるような取り組みが必要だと思う』(九州・小規模事業者)
- ◇『このような状況下でも業界として一致団結とした取り組みが実施されないことが、先行きにおいて非常に不安になる。自分だけがよければいいという風潮が抜けない限り、一般の方からの支持を得るのは難しいと思う』(中部・大規模事業者)
- ◇『社会的な責任として業界は、業界全体がきちり守ることのできるルールを決め、それを確実に守っていくことが必要だと思う。バラバラな状況は残念でならない』(関東・小規模事業者)
- ◇『東京都知事の発言でパチンコ営業に対する風評被害が拡大することなく、業界で取り組んでいる対策や支援策を上手にPRする必要があると思う』(中部・中規模事業者)
- ◇『東京都知事を含む業界へのバッシングが続く中、今度こそ業界が団結して意思の統一をすることが必要だと思う』(関東・小規模事業者)
- ◇『震災後の5団体協議による義援金拠出や、自粛行動について、団体間・県組合間等でまとまりが一切ないことは、業界の先行きに不安を感じる』(中部・中規模事業者)
- ◇『パチンコ業界が被災地にできることは何があるだろうと常々自問するが、何もできないことに悔しさを感じている』(近畿・小規模事業者)
- ◇『パチンコ業界の一員としてこの夏の節電には会社を挙げて協力していく』(関東・大規模事業者)
- ◇『節電は必要であるが、西日本では必要以上に萎縮する必要はないと思う』(近畿・小規模事業者)
- ◇『自粛ムードが高まっているが、適度な娯楽は必要だと思う』(関東・小規模事業者)
- ◇『もともとバッシングされやすい業界だと分かっていたが、電力問題でここまで叩かれるとは思わなかった。初動のミスが尾を引いた感じである』(近畿・小規模事業者)
- ◇『お客様の消費マインドが落ち込んでいるのが心配である。パチンコにとって、景気後退は間違いなく遅れて影響が出るだろう』(近畿・小規模事業者)

6. 東日本大震災 ④自由記述

(一部抜粋)

- ◇『夏場の電力不足への対策について、電力会社の方向性が見えにくく対策の検討に苦慮している。風評被害による過度の自粛や世論の動向により、日本全体の経済活動が停滞するのではないかと危惧している』(東北・中規模事業者)
- ◇『メーカーの新台の発売が延期および中止となり、今後のホールの新台入替が中古台も含めたものになるため、顧客離れにつながると感じる。東京都知事の発言があり、業界として節電の取り組みをしっかりとアピールしていかなければならない』(中部・小規模事業者)
- ◇『パチンコバッシングによる新卒社員募集に対する悪い影響を心配している』(中国・中規模事業者)
- ◇『業界への逆風がこれ以上強くないことを望んでいる』(九州・中規模事業者)
- ◇『夏場の電力不足が懸念され、計画停電は回避されそうだが、計画店休は実施されそうで粗利の減少が心配である。今のところお客様の生活スタイルに変化は見られないが、東京都知事みたいな人は大勢いそうで先行きが不安である』(関東・中規模事業者)
- ◇『関西電力も不安である』(近畿・小規模事業者)
- ◇『節電に対して、業界の統一した対策の実施を要望している。また、メーカーとの協力体制で義援金計画が必要である』(関東・小規模事業者)
- ◇『全国的に月3～4回の公休日をつくることが望ましい(最低月2回)』(九州・小規模事業者)
- ◇『パチスロは少しずつ上向いてはきているが、4円パチンコの稼働減が止まらない。1円パチンコの稼働では今後、新台購入に回す資金を減らしていく方向になると思う』(東北・小規模事業者)
- ◇『震災直後の電力問題と自粛で粗利が1週間激減した。しかし、計画停電地域から外れていたこともあり、その後回復基調になった。さらに現在も2時間の営業短縮を実施しているが、客数・粗利ともに震災前と変わらなくなった。広告宣伝費や光熱費、人件費が下がって経営的には若干楽になった』(関東・小規模事業者)

調査結果概要データ

■ 事業者規模別

項目	DI値区分			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況	-53.7	-22.2	-31.5	-44.0	-29.3	-24.4	-58.5	-36.4	-40.9	-51.7	-28.8	-32.4			
2. 稼働状況(パチンコ)	-56.6	-21.2	-26.9	-42.0	-24.4	-17.1	-85.4	-40.9	-40.9	-59.7	-28.5	-28.5			
3. 稼働状況(パチスロ)	25.5	19.2	15.4	22.0	19.5	14.6	-9.8	4.5	-9.1	14.1	14.6	7.3			
4. 資本投資気運の変化(遊技機)	-11.1	-41.5	-26.9	-17.4	-44.7	-39.5	5.3	-23.1	-23.1	-10.9	-38.5	-30.2			
5. 資本投資気運の変化(設備)	-17.0	-7.7	-17.3	13.0	-5.3	-13.2	5.0	-19.2	-7.7	-1.7	-9.5	-13.8			
6. 営業用設備の不足感	-1.9	-9.3	-20.4	-10.0	-7.3	-24.4	-4.9	-4.5	-11.4	-5.6	-7.2	-18.7			
7. 雇用人員の不足感	0	-7.4	-9.3	-8.0	-29.3	-17.1	2.4	6.8	11.4	-2.1	-9.4	-5.0			

注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上

■ 地域別

項目	地域区分			北海道・東北			関東			中部・北陸		
	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況	-36.4	-18.2	-54.5	-63.0	-38.3	-27.7	-35.7	-32.1	-35.7			
2. 稼働状況(パチンコ)	-45.5	-36.4	-54.5	-70.4	-29.8	-23.4	-55.6	-33.3	-29.6			
3. 稼働状況(パチスロ)	0	27.3	9.1	23.5	4.4	4.4	10.7	28.6	17.9			
4. 営業用設備の不足感	9.1	0	-18.2	-11.3	-14.9	-25.5	-10.7	-14.3	-17.9			
5. 雇用人員の不足感	9.1	18.2	18.2	-1.9	-10.6	-6.4	3.6	-14.3	-10.7			

項目	地域区分			近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況	-53.8	-20.7	-31.0	-50.0	-20.8	-29.2	-51.7	-28.8	-32.4			
2. 稼働状況(パチンコ)	-42.3	-20.7	-24.1	-65.4	-26.1	-30.4	-59.7	-28.5	-28.5			
3. 稼働状況(パチスロ)	15.4	13.8	-3.4	3.8	12.5	12.5	14.1	14.6	7.3			
4. 営業用設備の不足感	-3.8	-3.4	-13.8	-3.8	-8.3	12.5	-5.6	-7.2	-18.7			
5. 雇用人員の不足感	-15.4	-10.3	-6.9	0	12.5	4.2	-2.1	-9.4	-5.0			

注：北海道・東北：N=11 関東：N=47 中部・北陸：N=28 近畿：N=29 中国・四国・九州：N=24

■ 資金繰り等の現況推移

項目	対象時期			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査
資金繰り	-67.9	-17.0	-26.4	-69.6	-11.1	2.6	-83.3	5.0	0	-3.2	-11.0	-11.1			
貸出態度	-60.7	-19.2	-31.4	-60.9	-11.1	-10.8	-83.3	-10.0	-3.8	0	-14.5	-18.4			
借入金利	23.8	-2.0	8.0	22.2	2.2	2.6	8.3	0	7.7	-63.9	0	6.1			

注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上